



片手での正確なバスの指導を受け練習する子どもたち

プロに学ぶバスケの基本

町総合体育館でバスケットボール教室

8月4日から6日にかけて、アメリカ独立リーグ所属の「バンクーバーボルケーノーズ」の選手とオーナーなどが本町を訪問。6日には、町総合体育館で町内小中学生を対象にバスケットボール教室を開きました。

指導にあたった選手9人は、パスやドリブル、シュートなど、バスケットボールの基本的な動きを実技を交えながら約2時間指導し、子どもたちのシュートがうまく入ると「ハイタッチ」でたたえ、親交を深めていました。

参加した約150人の子どもたちも、終始笑顔でボールを追いかけていました。

同チームはこの日、熊本県選抜成年男子チーム、同少年男子チームと練習試合も行い、本場の華麗なプレーを披露しました。

目指せ将来の「なでしこ」

益城R 熊本F C フェニックス・ジュニア

益城ルネサンス熊本フットボールクラブの下部組織、ルネサンス熊本F C フェニックスが7月23・24日開催の「第17回女子ユースサッカーINくまもと」(菊陽町、16チーム出場)で、ルネサンス熊本F C ジュニアが7月16～18日開催の「女将カップ女子サッカーU-12」(大津町、10チーム出場)でそれぞれ優勝しました。

7月28日、優勝報告のために役場を訪れた選手たちに、住永町長が「練習はきびしいでしょうが、将来の“なでしこジャパン”を目指して頑張ってください」とねぎらいの言葉をかけました。選手たちも、一人ずつお礼を述べ、将来の目標を話してくれました。



役場を訪れた選手の皆さん



九州大会出場の報告に町長室を訪れた酒井さん

九州大会で結果を残したい

益城中2年の酒井優香さん(広崎4町内)

7月9日、KKWINGで行われた第57回全日本中学校通信陸上競技大会熊本県大会、女子100mで見事2位に輝き、8月6日に宮崎市で行われる第33回九州中学校陸上競技大会の出場権を獲得した酒井優香さんが、九州大会を控えた8月1日、出場報告に町長室を訪れました。

昨年に続き2回目の九州大会出場となる酒井さんに「県代表として、いろんな人の思いを背負い、しっかり頑張ってきてください」と住永町長が激励すると、「昨年は結果が残せなかったので、今年は結果を残したいです!!」と話していた酒井さん。その言葉どおり、九州大会では8位という上位の成績を出してくれました。